

# 令和7年度「建設技術報告会」を開催しました

北陸地方建設事業推進協議会

北陸地方建設技術報告・広報委員会

北陸地方建設技術報告・広報委員会（北陸地方建設事業推進協議会の官公庁及び民間団体等 23 機関で構成）は、北陸地方における建設事業の円滑な推進を図るため、官公庁及び民間の建設会社において、新たに研究開発された新技術、新工法等を報告することにより、研究開発技術の普及を図ることを目的に本報告会を毎年開催しています。

「建設技術報告会」は、新型コロナウイルス拡大防止対策を契機に、令和2年度よりオンデマンド配信にて開催していますが、DX及び働き方改革推進の観点から、今年度もオンデマンド配信で開催しました。

令和7年度建設技術報告会は、全国から825名の方から視聴いただき、CPD（155名）及びCPDS（443名）の受講証明書を発行しました。

## 1. 開催概要

聴講申込期間	: 令和7年 11月 20日（木）～令和8年 1月 8日（木） [ 50日間 ]
開催期間	: 令和8年 1月 9日（金）～令和8年 1月 30日（金） [ 22日間 ]
再視聴期間	: 令和8年 1月 31日（土）～令和8年 2月 13日（金） [ 14日間 ]
報告技術数	: 22 技術（総再生時間 : 4 時間 33 分）
視聴者数	: 825 名（CPD 受講証明 155 名、CPDS 受講証明 443 名）

## 2. 次回開催に向けて

### ●本年度聴講者からの意見

#### ◇主な意見

- ・非常に参考になり、今後の研鑽に繋がるものであった。
- ・各企業、事務所での取り組みを知ることのできる有意義な講習だった。
- ・新しい気づきや学びも大変多く、とても刺激となった。
- ・オンデマンド方式は、期間内にいつでも自分の都合に合わせて視聴可能であるため大変良い。
- ・再度、動画を閲覧することが可能であるオンデマンド開催は引き続きお願いしたい。
- ・とても内容の濃い発表だった。継続してお願いしたい。
- ・来年度以降もこのスタイルを継続していただけると幸いです。
- ・最近はAIを使った技術が多く、似たり寄ったりのように思う。

#### ◇次回に向けて参考となる個別意見

- ・河川・道路・橋梁・舗装・電気通信などのインフラ維持管理や災害復旧に関する技術テーマの取り入れ。
- ・中小規模の現場でも導入可能なICT技術や、身近に役立つ新技術の紹介をしてほしい。
- ・DX、ICTだけでなく、純粋な土木技術の進化についてももっと知りたい。
- ・もう少し視聴期間を延ばしていただきたい。
- ・音声聞き取りにくい発表があったため、一定の音量にしてほしい。

### ●次回開催までの検討項目

- ・音声レベルの統一化
- ・視聴画面の拡大（全画面表示対応）

※当報告会の目的である新技術の活用・普及に向けて大変有意義な報告会となりました。  
多数のご視聴ありがとうございました。

●オンデマンド配信による課題報告一覧

技術番号	テーマ	報告技術名	発表者	会社名	再生時間(分:秒)
1	①	建設現場のDXソリューション「A^CSEL」	出石 陽一	鹿島建設株式会社	13:52
2	①	ヘッドマウントディスプレイによる遠隔無線操作システムの開発	京免 継彦	佐藤工業株式会社	14:45
3	①	クレーンAI監視システム「WIT 3rdEYE」の開発	豊岐 直之	若築建設株式会社	12:37
4	①	地盤改良の位置誘導システム「Tarpos 3D」の開発と活用事例	高垣 修太	株式会社不動産テトラ	12:29
5	①	「DX体験」を通じたインフラDX推進への取り組み	田邊 剛	国土交通省北陸地方整備局 北陸技術事務所	14:09
6	①	ローカル5Gを用いたケーブルクレーンの自律化技術	久保 貴士	株式会社大林組	13:52
7	①	山岳トンネル発破掘削の自動化	加藤 謙吾	佐藤工業株式会社	9:26
8	①	シミズ・スマート・トンネルの開発	平野 宏幸	清水建設株式会社	15:11
9	①	山岳トンネルにおける全自動鋼製支保工建込みロボットの開発	春田 克樹	前田建設工業株式会社	13:22
10	①	簡易路面点検技術『マルチファインアイ』	粕谷 一明	福田道路株式会社	13:49
11	①	施工データの集約・分析とデジタル技術を融合した次世代型道路改良工事の実現	中川 拓	株式会社本間組	12:18
12	①	減揺タンクによる浮遊ケーソンの動揺低減技術	倉原 義之介	東亜建設工業株式会社	14:52
13	②	ウォーターPPP 事業における質の向上・効率化技術の開発	山口 治	株式会社奥村組	9:07
14	②	UAV自律飛行を活用した手取川流域における砂防施設等の点検手法の構築	中野 光	国土交通省北陸地方整備局 金沢河川国道事務所	11:24
15	②	スマートフォンを活用した道路点検DXシステム	雄谷 光	国土交通省北陸地方整備局 新潟国道事務所	10:22
16	③	廃孔消雪用井戸を再利用した地中熱ヒートパイプ融雪の試行	水戸部 将人	株式会社興和	14:36
17	④	梯川水系における内外水統合型水害リスクマップの検討について	徳坂 文音	国土交通省北陸地方整備局 金沢河川国道事務所	11:04
18	④	UB-WALL工法(中空床版橋アンカー定着工法)の開発	雨宮 美子	ピーエス・コンストラクション 株式会社	9:17
19	⑤	機械式フォームドアスファルトによる中温化舗装技術	石垣 勉	株式会社NIPPO	11:20
20	⑤	スチームレスプレキャストコンクリート	椎野 碧	ピーエス・コンストラクション 株式会社	11:15
21	⑤	藻類増殖材(イオンカルチャープレート)を用いた藻場造成	廣瀬 紀一	株式会社不動産テトラ	9:49
22	⑥	可塑性グラウト増深工法の紹介と実構造物への適用結果	小笠原 哲也	五洋建設株式会社	14:43

以下の6テーマに関して、22課題の報告を行いました。

- |                        |                       |                 |
|------------------------|-----------------------|-----------------|
| ①生産性向上、インフラ分野のDX(12課題) | ②社会資本の的確な維持管理・更新(3課題) | ③雪に強い地域づくり(1課題) |
| ④自然災害からの安全確保(2課題)      | ⑤環境の保全と創造(3課題)        | ⑥その他(1課題)       |

令和7年度「建設技術報告会」の報告論文は、建設技術報告会ホームページよりダウンロードできますので、下記URLよりご覧ください。

URL：<https://kensetsu-houkokukai.info/index.html>

北陸地方建設事業推進協議会 北陸地方建設技術報告・広報委員会構成機関

- 北陸地方整備局／新潟県／富山県／石川県／新潟市
- 東日本高速道路(株)新潟支社／中日本高速道路(株)金沢支社
- (一社)日本建設業連合会北陸支部／(一社)日本道路建設業協会北陸支部
- (一社)新潟県建設業協会／(一社)富山県建設業協会／(一社)石川県建設業協会
- (一社)建設コンサルタンツ協会北陸支部／(一社)日本建設機械施工協会北陸支部
- (一社)北陸土木コンクリート製品技術協会／(一社)プレストレスト・コンクリート建設業協会北陸支部
- 北陸PC防雪技術協会／(一社)新潟県融雪技術協会／(一財)新潟県建設技術センター
- 北陸地質調査業協会／(一社)日本埋立浚渫協会北陸支部／(一社)北陸地域づくり協会
- (一社)日本橋梁建設協会北陸事務所